

公開シンポジウム

いま、何故、心理学教育を高校に導入する必要があるのか？

のご案内

現在の高等学校では、「学校指定科目」として実施されている「心理学」の授業実体が、かなり偏った内容になっていること、公民科目の「倫理」で扱われている心理学関連項目が現代心理学からかけ離れた内容になっていることなどが、心理学自体の学問的認識に多くの誤謬を招いている。第21期日本学術会議の心理学教育プログラム検討分科会では、これらの現状分析と問題点を洗い出しながら、我が国の高校における望ましい心理学教育の在り方について審議してきた。

本シンポジウムでは、

- ・大学で心理学を教授している方
- ・高校への出前授業のカリキュラムとしての心理学教育を考えている方
- ・高校で心理学の知見を応用した授業改善を研究されている教員の方

以上の方々に、高校に心理学教育を導入することの意義について意見交換をしていただく。そして、将来的に欧米と同じような心理学教育を高校へ導入する可能性を探ることを目的に、それぞれ意見を開陳してもらう。

2011年8月20日(土) 13時-15時

東京大学駒場キャンパス

アドミニストレーション棟 3F 学際交流ホール 東京都目黒区駒場 3-8-1

京王井の頭線 駒場東大前駅下車 東大口より徒歩3分

・アクセスマップ http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_02_j.html

司 会 ○内田伸子 お茶の水女子大学客員教授

話題提供者 ○仁平義明 白鷗大学教授
日米比較から見た我が国の
心理学教育の問題点

○無藤 隆 白梅学園大学教授
中等教育における心理学教育の可能性

○市川伸一 東京大学教授
認知心理学を学習方法の改善に生かす

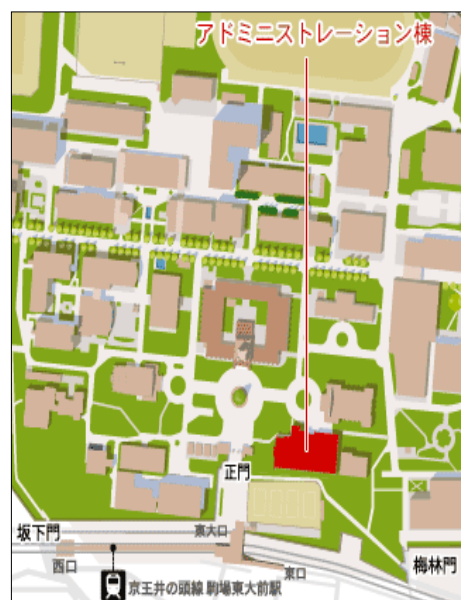
○池田まさみ お茶の水女子大学特任准教授
中高の心理学出前授業から見た中高生の心理学理解の在り方

○佐藤けい子 埼玉県立川越高等学校教諭
高校生に対する心理学教育の導入によりどのような効果があるか

○今井一宏 同志社国際中学校・高等学校教頭
高校生の心理学教育を実践して思うこと

指定討論者 ○利島 保 広島大学名誉教授
○長谷川寿一 東京大学教授

企 画 者 ○利島 保・長谷川寿一・仁平義明・内田伸子・佐藤隆夫 東京大学教授



お申込はE-mail, Fax, 往復はがきで、参加希望日・シンポジウム名を明記の上、住所・氏名・年齢と、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください（E-mailでの申込時は、件名に希望日・シンポジウム名をご記入ください）。

※各シンポジウム・研修会ごとにお申込を受け付けております。他のシンポジウム等への参加を希望される方は、別途お申込ください。



公益社団法人日本心理学会

113-0033 東京都文京区本郷 5-23-13 田村ビル内

Tel: 03-3814-3953 Fax: 03-3814-3954 E-mail: jpa-event@psych.or.jp URL: <http://www.psych.or.jp>